

学校だより

令和3年(2021年)11月1日

11月号

豊中市立豊島小学校

全国学力・学習状況調査について(国語)

5月27日(木)に実施しました全国学力・学習状況調査について調査結果が先月出ました。そこで本校の課題についてまとめてみました。今回は国語です。

まず、本校の課題としては記述式の問題で、「目的や意図に応じて、理由を明確にしながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること」に課題が見られました。これは豊中市全体でも同じ結果でした。

どうということかと言うと、自分は「～した方がいいと思います。」という意見があるとします。でも、それだけでは説得力がありません。「～という理由から、～した方がいいと思います。」と書くと説得力が増します。さらに、具体例を示して、「～の時に、～という話を聞きました。だから私は～という理由から、～した方がいいと思います。」と書くと相手に自分の考えがしっかりと伝わるようになります。

「自分の考えを相手に伝える」力というのは、学校の授業だけでなく、学校以外でも日常生活の様々な場面で活用する大切なものです。

次に、「文章全体の構成をとらえ、内容の中心となる事柄を把握する」「自分の主張が伝わるように文章全体の構成や展開を考える」ということに課題がありました。

これは、国語の教材の説明文に見られる「はじめ」「なか」「おわり」という文章の構成についての問題です。説明文では一般的に、「はじめ」で、筆者が自分の考えを書いたり、これから何を話したりするのかを書きます。「なか」で、筆者の考えの根拠となる具体例や物事の紹介を詳しく書きます。「おわり」で「このように～」というまとめをしたり、筆者の考えをもう一度書いたりします。

本校では、説明文の「はじめ」「なか」「おわり」の構成については理解できている児童が多いようですが、筆者がどうしてそのような文章の構成や展開にしているか、その意図についてはわからない児童がいるようです。

ということは、先ほどの説得力のある書き方とも関係します。「どうすれば相手に自分の考えが伝わるか、そのためにはどのような文章の構成にすればよいかを考える」ということに本校の課題が見られるということです。

学校の授業において、児童が自分たちの意見や考えを発表し、交流することは毎日の授業で取り組んでいることです。では、どうすれば、さらに上記のような力を身につけることができるか。それは、意見を言うときに必ず理由を述べることや、他の人の意見を引用(「～さんはこう言っていましたが、わたしは…」という言い方)することを何度も何度もトレーニングすることがあげられます。感想を言うときも、「楽しかった」「すごかった」ということを言っても、具体的にどういうことが楽しかったか、何をすごいと感じたかを言うように習慣づけることです。

もちろん、これらは国語の授業という限られた時間の中ではなく学校生活のあらゆる場面で取り組むことです。

私たちの日常生活においては、つい忙しくて、短い会話のやり取りで済ましてしまうこともあります。また、スマホが身近にあり、会話をしなくても短いメッセージやスタンプで要件を済ませてしまうこともあります。ご家庭でも、少し時間があるときに、ゆっくり会話をしたり、考えを聞いてみたりする機会を取り入れてもらえたらと思います。

今回の学力・学習状況調査の結果は、教員間でも課題として共有し、学習指導に取り入れていきます。

(⇒裏面に国語の設問³を参考としてのせております。)

感染拡大防止のために引き続きお願いしたいこと

緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスの感染者数も減少し、社会生活も少しずつもとに戻りつつあります。

しかしながら、集団生活をする学校においては、再び感染者が増加する懸念も残っており、大阪府・豊中市の方針としても引き続き以前と同じ対応を求められていますので、ご理解ご協力をよろしくお願いします。

↓ご家庭でも感染拡大防止についてご協力をお願いします。

- ・毎朝の検温と健康観察
- ・マスクの着用
- ・手洗い、手指消毒、換気の徹底
- ・免疫を高めるため、十分な睡眠、バランスのとれた食事、適度な運動を心がける。



↓このような場合は登校をひかえていただきますようお願いします。

- ・子ども本人や同居家族に発熱やせき等のかぜ症状があるとき
- ・子ども本人や同居家族がPCR検査をうけることになったとき
(すみやかに学校への連絡をお願いします。)
- ・保健所から自宅待機の指示があったとき

10月30日 PTA秋のイベントのお礼

10月30日(土)にPTA秋のイベントが開催されました。当日はとてもいい天気でたくさんの児童や保護者に参加していただきました。

振り返ってみれば、新型コロナウイルスの感染により、昨年度も今年度もPTA行事を縮小せざるを得ず、このように開催できたのは久しぶりでした。

このイベントの開催に向けては、早い段階からPTA役員の方々に準備が進められてきました。時には社会状況から開催は難しいのではと議論をしたり、実施するためにはどのような感染対策をとればよいのかを話し合ったりと長い時間をかけてきました。また、子どもたちが楽しめるようにと様々な企画を練ってきました。

当日を迎え、子どもたちの笑顔や参加していただいた保護者の方々の笑顔を見ることができて、私たちもうれしかったです。

ご協力いただいた方々に感謝いたします。ありがとうございました。